

モネ
ローラン
ルノワール
ルオー
ピカソ
シャガール
浅井忠
鹿子木孟郎
梅原龍三郎
和田英作
藤島武二
岡田三郎助
岸田劉生
小杉放菴
中川一政
坂本繁二郎
熊谷守一
岡鹿之助
海老原喜之助
森芳雄
小磯良平
山口薫
香月泰男
etc.

はじまりは、モネ。



Selected Works of Sumitomo Collection
—Western Paintings of the 19th-20th Centuries from France and Japan—

在友コレクション 名品選

フランスと
日本近代洋画

2023
9/8 FRI
11/6 MON

開館時間
9月/10:00～日没後30分 10-11月/10:00～18:30
(展示室への入場は閉館時刻の30分前まで)

休館日 火曜日(10月10日(火))に一部展示替えを予定しています。)

主催: 島根県立美術館、山陰中央新報社、日本海テレビ、SPSしまねグループ
後援: 朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社
新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送
エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン

協力: 公益財団法人泉屋博古館 企画: 神戸新聞社

島根県立美術館

クロード・モネ《モンソー公園》1876年 泉屋博古館東京蔵



1 ジャン＝ポール・ローランス《マルソー将軍の遺体の前のオーストリアの参謀たち》1877年

★オープニングギャラリートーク

《要企画展観覧料》

[日時] 9月8日(金)10:00頃～(約45分)
[講師] 野地 耕一郎氏(泉屋博古館東京 館長)
[会場] 企画展示室

★本展監修者による記念講演会

《全2回・聴講無料》

① モネからはじまる住友洋画物語

—近代日本最初の洋画コレクション—

[日時] 9月9日(土)14:00～(約90分)
[講師] 野地 耕一郎氏(泉屋博古館東京 館長)

② 美の対決

—絵筆を手に西洋文明と向き合った画家たち—

[日時] 10月14日(土)14:00～(約90分)
[講師] 岡 泰正氏
(神戸市立小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館 館長)
[会場] ①・②とも美術館ホール
(190席・当日先着順/30分前開場)

この他、ロビーコンサートや映画上映会など関連イベントを用意しております。
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

観覧料

◆前売券(一般のみ)・オンラインチケット・ローソンチケット(企画展とコレクション展のセット販売のみ)

[企画展・コレクション展セット] 一般:1,000円 / 大学生:780円 / 小中高生:300円

※前売券(一般のみ)・オンラインチケット・ローソンチケットは2023年8月8日から販売 ※オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます(ローソンチケット/Lコード61673)

◆当日券

[企画展・コレクション展セット] 一般:1,300円(1,040円) / 大学生:1,000円(800円)

[企画展のみ] 一般:1,150円(920円) / 大学生:900円(720円)

小中高生共通:400円(320円)

※未就学児無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校教育活動での観覧は無料
※身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料



オンラインチケットの
購入はこちらから

こどもといっしょのかぞくの時間

作品についてお子様とおはなししながら鑑賞いただけます。

[日時] 毎日10:00～12:00 ※休館日を除く

[対象] 0歳児からのお子様とその家族

[会場] コレクション展示室・企画展示室 ※閉室期間を除く

つくるたのしむアートスタジオ(要事前申込)

毎週第3日曜日の「しまね家庭の日」にあわせて造形ワークショップを開催します。詳細はホームページでご確認ください。

[日時] 9月17日(日)、10月15日(日)

次回展覧会予告

◆第56回島根県総合美術展(県展)
11月18日(土)～11月26日(日)

◆第70回日本伝統工芸展
12月6日(水)～12月25日(月)



交通案内
・JR松江駅から徒歩約15分
・JR松江駅から松江市営バス(南館環線内回り)6分→「県立美術館前」下車
・観光ループバス(レイクライン)→「県立美術館前」下車
・山陰道→松江西ランプから車で約5分
駐車場
国道9号袖師交差点南進(駐車場より地下道をご利用ください)
※3時間まで無料

島根県立美術館
〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
https://www.shimane-art-museum.jp

それは、モネからはじまった—

稀代の数寄者として知られる住友家15代当主・住友吉左衛門友純(号春翠。1864-1926)が始めた美術品の蒐集は、長男の寛一(1896-1956)、16代吉左衛門友成(1909-1993)へと受け継がれ、優れたコレクションが形成されました。とりわけ春翠が1897(明治30)年の欧米視察旅行の際にパリで購入した2点のモネは、日本にもたらされた最初期のモネ作品として特筆すべき存在です。住友家の須磨別邸にはこのモネをはじめとする貴重な洋画コレクションが飾られ、まだ日本に美術館と呼べるものがなかった時代に日本の画家たちに鑑賞の機会を与えました。

本展では泉屋博古館東京が所蔵する住友コレクションからフランス絵画および日本近代洋画85点を紹介します。クロード・モネ、ジャン＝ポール・ローランス、浅井忠、鹿子木孟郎、藤島武二、岸田劉生らによる名品の数々をお楽しみください。(※会期中一部展示替えあり)



2 藤島武二《幸ある朝》1908(明治41)年



4 オーギュスト・ルノワール《静物(ブラム)》1905年頃



3 岸田劉生《二人麗子図(童女髻髪図)》1922(大正11)年



5 岡田三郎助《五葉篇》1909(明治42)年



6 鹿子木孟郎《ノルマンディーの浜》1907(明治40)年 泉屋博古館東京寄託
1～5はいずれも泉屋博古館東京蔵